

誘発電位検査(SEP・VEP・ABR)を受けられる患者様へ

1、検査について

- ・SEP(体性感覚誘発電位)は電気刺激を用いて末梢神経から脊髄、脳に至る感覚神経と神経中枢の働きを調べる検査です。
- ・VEP(視覚誘発電位)は視覚刺激を用いて視神経、視覚経路の働きを調べる検査です。
- ・ABR(聴性脳幹反応)は音刺激を用いて、聴神経から脳幹の働きを調べる検査です。

以下に該当する患者様は検査が出来ません。主治医にお申し出ください。

- ・脳深部刺激療法を行っている。
- ・人工内耳を装用している。
- ・自分で着脱不可能なかつらを装着されている。

以下に該当する患者様はSEP検査が出来ません。主治医にお申し出ください。

- ・心臓ペースメーカー・ICDを植め込んでいる。

2、検査前(当日)の注意

- ①食事： 普通に食事を摂っていただいて結構です。
- ②内服薬： 医師の指示に従って下さい。
- ③その他：
 - ・検査前日はなるべく洗髪し、検査当日は髪油・整髪料はつけないで下さい。
 - ・SEP検査は着脱しやすく、上下に分かれる服装でお越し下さい。
 - ・VEP検査を受けられる患者様は普段お使いの眼鏡をご持参下さい。

3、検査前の準備

- ①検査の予約時間の15分前にはトイレを済ませて、2F東受付で受付をして脳波・筋電図室前の長椅子でお待ち下さい。
- ②髪飾りやピアス・イヤリング等は外してお待ち下さい。
また、かつらやヘアピースなどは外す準備をして下さい。

4、所要時間

- ①約30分～1時間です。

5、検査方法

アルコール綿又はヘキシジン綿と皮膚処理剤で電極を貼る皮膚の油や汗を落とし、クリームの付いた電極を貼ります。

- ①SEP検査は頭部・頸部・腰部に電極をつけて、調べたい末梢神経に刺激を与えます。
神経によっては痛みや不快感を生じる場合もあります。
- ②VEP検査は頭部に電極をつけて椅子に座り、テレビ画面に映る反転する白黒の市松模様、強い白色光のフラッシュにより、視神経に刺激を与えます。
- ③ABR検査は頭部と耳に電極をつけて、ヘッドホンを使用して「カチカチ」という音を聞くことにより、聴神経に刺激を与えます。
- ④検査時に使用するクリームは無害です。

6、検査後の注意

- ①検査終了時、電極を貼った部位のクリームをぬるま湯でふき取りますが、多少べたつく事があります。
- ②その他、ご不明な点がありましたら、下記までご連絡下さい。

7、その他

- ①検査予約時間に遅れてこられた場合、検査開始が遅れる、または状況によっては再予約をお願いする場合がありますのでご了承ください。
- ②検査開始時刻は状況により多少前後します。
- ③検査結果等については、次回診察時に主治医からお聞き下さい。

8、予約センター(電話自動応答システム)

他の患者様にも影響がありますので、原則予約の変更はしないようにお願いします。

電話番号 03-3353-8138

受付時間：月～金 9:00～16:30

土 9:00～12:00(第3土曜日は除く)

検査予約の変更は、次回の診察時に医師に相談していただく場合があります。

検査内容についてのお問合せ先： 東京女子医科大学病院 総合外来センター2階 筋電図検査室

(代表) 03-3353-8111 内線番号 21241

改訂年月日：2023.11.1